



IPアドレス管理指定事業者連絡会 -1.1

2002.04.05

第13回APNIC Open Policy Meeting の報告

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 鈴木 由佳

目次

1. APNIC Open Policy Meeting とは
2. SIGとは
3. 第13回APNIC Open Policy Meeting
4. JPNICが関係したプレゼンテーション
5. 主なミーティングの報告
6. その他



APNIC Open Policy Meetingとは³

- 目的
 - アジア太平洋地域のインターネットコミュニティに影響する、IPアドレス関連の技術、ポリシーを議論すること
- 構成
 - 各種SIG、チュートリアル、APNIC総会などが行われる
- 参加者
 - 参加費を払えば誰でも参加可能
 - アジア太平洋地域に限らずARIN、RIPE NCCなどからも出席
- 通常年2回開催

SIGとは

- Special Interest Groups の略
- APNIC 及びアジア太平洋地域のインターネットコミュニティに関わる特定のトピックスをオープンに議論する場
- 誰でも提案、発表を行うことができる
- SIGでコンセンサスを得たものは実施に移される
- コンセンサスが得られない場合は見送りとなるが出された意見を検討した上で再度提案を行うことは可能

最近のミーティング

- August 2001 Taipei
- February-March 2001 Kuala Lumpur
- October 2000 Brisbane
- March 2000 Seoul
- March 1999 Singapore



第13回 APNIC Open Policy Meeting in Bangkok

- 開催期間
 - 2002年3月4日～3月7日
- 場所
 - Queen Sirikit National Convention Center
- 参加人数
 - 645名
- URL
 - <http://www.apnic.net/meetings/index.html>



上画像はAPNICのWebに掲載されているものを使用しています

今回のミーティングの構成



- APNIC Training
- 各種SIG
 - Address Policy /IPv6 Technical /Routing /IX/Database /DNS
- Open NIR Meeting
- Hostmaster Consultation Session
- ASO General Assembly
- APNIC Members Meeting
- NIR Workshop

上画像はAPNICのWebに掲載されているものを使用しています

など

今回のミーティングの特色

- APNIC EC (Executive Council) 選挙
- IPv6アドレス
 - 割り振り/割り当てポリシーの提案
 - 日本からのIPv6に関する報告
- CATV/xDSL のガイドライン
- AP地域におけるASO (Address Supporting Organization) AC (Address Council) 選挙方法についての提案
- IX SIG が初めて開催

JPNICが関係したプレゼンテーション

- JPNIC Open Policy Meeting 紹介(Open NIR Meeting)
- JPNIC新レジストリシステムの紹介(Open NIR Meeting)
- CATV/xDSLガイドラインの運用について(Address Policy SIG)
- IPv6ポリシーの提案(Address Policy SIG)
- IRRのオペレーショナルモデルについての報告(Routing SIG)

Open NIR Meeting

- 以下の7つのプレゼンテーションが行われた
 - JPNIC Open Policy Meeting の紹介(JPNIC)
 - IPv6 のレジストリシステム開発状況報告 (APNIC)
 - KRNICのIPv6 レジストリシステム開発状況報告 (KRNIC)
 - JPNIC の新レジストリシステムについて(JPNIC)
 - TWNICの新しい課金制度についての紹介(TWNIC)
 - インドネシアにおけるNIR設立の提案(ISOC-ID)
 - NIR のクライテリア文書の検討報告(KRNIC)

Open NIR Meetingのトピック

- NIR のクライテリア文書の検討報告 (KRNIC)
 - 内容
 - NIR を定義したドキュメントの紹介
 - 通常のAPNIC会員とは異なる性質を持つNIRの将来的な位置付けについて記述
 - 結果
 - ドキュメントをもとにWG-NIRのメーリングリスト上で議論を継続
 - 次回のAPNIC Open Policy Meetingまでに合意が得られればAPNIC総会にて決議が行われる予定

Address Policy SIG

- 以下の7つのプレゼンテーションが行われた
 1. IPv6ポリシー～Interim policy document～(Anne Lord/伊藤公祐)
 2. IPv6 実験環境用 IPv4 大規模空間トライアルプログラム(伊藤公祐)
 3. AS ポリシードラフト(Anne Lord)
 4. 改訂されたIPv4アドレスポリシー文書(Gerard Ross)
 5. RFC2050の改訂(Cathy Wittbrodt)
 6. CATV/xDSL のガイドラインについて(荒野高志)
 7. CATV/xDSL の運用について(前村昌紀)

※1.3.6.7 が提案、2.4.5 が報告

- IPv6ポリシー～Interim policy document～
 - 提案内容
 - 2001年12月22日にドラフトが公開され、グローバルメーリングリストで検討が重ねられた
 - 検討した結果、改訂案がドラフティングチームより提案

参考公開されたドラフト

原文：“IPv6 Address Allocation and Assignment Global Policy Draft of December, 22 2001 Version 2001-12-22”

<ftp://ftp.cs.duke.edu/pub/narten/global-ipv6-assign-2001-12-22.txt>

翻訳文：「IPv6アドレス割り振りおよび割り当てグローバル ポリシー2001年12月22日の草稿(参考訳)、バージョン2001-12-22」

<http://www.nic.ad.jp/ja/translation/ipv6/global-ipv6-assign-2001-12-22.html>

- IPv6ポリシー～Interim policy document～
 - 具体的な改訂案
 - 主に以下の3点について議論
 - 初期割り振り条件について、ドラフティングチームの改訂案に差し替え(ドラフトより基準を緩和)
 - 追加割り振り条件の基準算定方法について、これまで通りHD-Ratioを適用
 - LIRの要求される役割について、現状提案されているドラフト通り
 - 結果
 - 既存のドラフトから、上記の3提案を含めた全体のドラフトについて、コンセンサスが得られた
 - ARIN、RIPE でもコンセンサスが得られれば、グローバルポリシーとして決議される予定

- AS ポリシードラフト
 - 提案内容
 - AP 地域における AS 番号割り当てポリシー策定の提案
 - 結果
 - ポリシー中に、登録された AS 情報のピアリング情報の update を必須とする旨の記述があった
 - この部分を縛りの弱い表現に変えることで、ポリシー全体はコンセンサスが得られた
 - 今後、APNIC のドキュメント化されるべく作業が進められる予定

- CATV/xDSL ガイドラインについて
 - 提案内容
 - 前回の APNIC OPM で提案された、CATV/xDSL ガイドラインの一部継続検討となっていた件について、BB-WG にて検討した内容の提案

参考: 前回の提案された内容・結果

http://www.apnic.net/meetings/12/sigs/address_policy.html

- CATV/xDSL ガイドラインについて
 - 具体的な提案内容
 - 顧客リスト提出については必須ではなく、審議の際に正当化するための情報の1つである
 - 1ユーザに対し1アドレスより大きい割り当てについては、正当化は必要である
 - 1ユーザに対し、/29以上割り当てる場合は、割り当て報告が必要である
 - 結果
 - 上記3つの提案については、コンセンサスが得られた
 - 本件については、ガイドラインに反映される

Address Policy SIGのトピック(6)

- CATV/xDSL の運用について
 - 提案内容
 - 前回の APNIC OPM で提案された、CATV/xDSL ガイドラインの内容について日本からの意見を取りまとめて提案。
 - A) 初回(サービス開始時)割り当てサイズについて、アドレスの算出基準を機器1台としていたところを、機器のうちのポートとすること
 - B) NIR/RIRは「ISPがアドレス不足に陥らないよう努力する」とポリシーに明記すべき
 - 結果
 - 日本からのガイドライン変更の提案については、取り入れられなかった
 - この点について、ガイドラインの変更は行われない

- CATV/xDSL の運用について
 - 取り入れられなかった理由
 - A) 初回割り当て基準のため、基準はシンプルに
 - B) RIR/NIRのやるべきこととして当然であるため、あえて明記する必要はない

APNIC Members Meeting

- APNIC Annual Report
- APNIC Executive Council and Member Survey reports
- 2002年度APNIC活動、予算計画
- My APNIC (レジストリシステム)のデモ
- EC 選挙立候補者の演説
- SIG & NIR Open Meeting 報告
- ASO AC 選挙について
- 各RIR からのステータスレポート
- EC 選挙結果および次回のMeetingについて



APNIC Members Meetingのトピック(1)²¹

- ASO ACの選挙方法の検討
- APNIC ECの選挙
- 次回APNIC Meeting開催地の発表

- AP地域におけるASO ACの選挙方法の検討
 - 提案内容
 - 出席者全員に投票権が与えられる既存の選挙方法では、ミーティングのホスト国が出席者を募ることにより有利に働く
 - AP地域において、ASO ACの選挙方法についても見直しが必要との提案があった
 - 結果
 - 明確な結論はなく、APNIC ECが持ち帰って検討

- APNIC ECの選挙
 - APNIC ECは7名で構成され、そのうち3名が今回改選対象
 - APNIC会員による投票の結果、以下の3名が再選
 - 前村 昌紀 (JP)
 - Che-Hoo Cheng (HK)
 - Geoff Huston (AU)

- 次回APNIC Meeting開催地の発表
 - JPNICがローカルホストとして、北九州市で開催することに決定

APNIC Open Policy Meetingの結果を受けて

- Open NIR Meeting
 - JPNIC IPアドレス検討委員会に諮問を受けながら、NIR ポジションについて、検討していく
- Address policy SIG
 - IPv6ポリシー～Interim policy document～
 - JPNIC としてリーダーシップを引き続きとっていく
 - AS ポリシードラフト
 - 既に JPNIC で策定した JPNIC AS policy との整合性をはかるべく検討を開始する
 - CATV/xDSL ガイドライン
 - 今回決定したガイドラインの内容を、IPアドレス管理業務におとしこむため、IPアドレス検討委員会の諮問を受けながら、検討を開始する

その他SIG等

- その他SIGの報告や今回報告したプレゼンテーション資料

<http://www.apnic.net/meetings/index.html>





JPNIC Open Policy Meeting ²⁷について

- JPNIC Open Policy Meeting 開催予定
 - 開催時期: 2002年6月中旬
 - 開催場所: 東京都内
 - 提案方法を含めた、詳細については、近日中にIP-USERSのメーリングリストにアナウンス

次回APNIC Open Policy Meeting

- 日本開催決定！
 - 北九州国際会議場(北九州、小倉)
- 開催期間：2002年9月3日～9月6日
- ミーティングの詳細情報
 - APNICのWebページ上より
 - <http://www.apnic.net/meetings/index.html>



See You At The Next Meeting!

参考: SIGへの提案

1. 期限までに提案内容を電子メールにて提出
 - 提案内容の募集は、APNICのWeb等にアナウンス
2. APNICのWebにて事前に内容が公開される
3. SIGでプレゼンテーション・会場からの質疑応答
4. SIGのチェアがコンセンサスを求める(提案の場合)
 - 参加者は提案に賛成であれば挙手
5. コンセンサスの判断は会場で異論がないことを確認した上でSIGのチェアが行う
6. APNIC総会にて結果報告
 - 継続議論のため、SIGごとにメーリングリストがある

Q&A

